

中野区教育委員会会議録 平成21年第11回定例会

○開会日 平成21年4月10日（金曜日）

○場 所 中野区教育委員会室

○開 会 午前10時01分

○閉 会 午前10時44分

○出席委員（5名）

中野区教育委員会委員長	大 島 やよい
中野区教育委員会委員長職務代理	飛鳥馬 健 次
中野区教育委員会委員	山 田 正 興
中野区教育委員会委員	高 木 明 郎
中野区教育委員会教育長	菅 野 泰 一

○出席理事者（7名）

教育委員会事務局次長	田 辺 裕 子
参事（教育経営担当）	合 川 昭
副参事（学校再編担当）	吉 村 恒 治
副参事（学校教育担当）	寺 嶋 誠一郎
指導室長	喜 名 朝 博
副参事（生涯学習担当）	飯 塚 太 郎
中央図書館長（統括）	小谷松 弘 市

○担当書記

教育経営分野	落 合 麻理子
教育経営分野	上 田 仁

○会議録署名委員

委員長	大 島 やよい
委 員	山 田 正 興

○傍聴者数 4人

○議事日程

〔議決案件〕

日程第1 中野区教育委員会委員の議席の決定について

〔報告事項〕

(1) 委員長、委員、教育長報告事項

3/27 教育委員と区長との懇談会について

3/27 NPO法人支え合う21世紀の会のデンマークの障害のある学生との交流会について

3/30 教育委員任命式について

3/30 退職校長辞令伝達式について

4/1 校長辞令伝達式、新規採用・転入主幹・教員辞令伝達式について

4/1 中野区新規採用職員入区式について

4/2 東京都医師会学校医会について

4/2・3 野方・中野警察署との年度初め顔合わせについて

4/3 ゼロキッズこども環境学会賞受賞報告について

4/3・4 中野通り桜まつりについて

4/5 哲学堂公園東京都名勝指定記念式典

4/5 中野区太極拳協会中野区体育協会加盟第20周年記念表演交流大会について

4/6 白桜小学校開校式・入学式について

4/6 南中野中学校開校式について

4/7 南中野中学校入学式について

4/9 平成21年度教育施策連絡会について

(2) 事務局報告事項

①教育管理職の異動(平成21年4月1日付)について(指導室長)

午前 10 時 01 分開会

大島委員長

おはようございます。

教育委員会第 1 1 回定例会を開会いたします。

本日の出席状況は、全員出席です。

本日の会議録署名委員は山田委員にお願いいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりです。

<委員長あいさつ>

大島委員長

まず初めに、このたび私が委員長に就任いたしまして初めての会議ですので、一言ごあいさつをさせていただきます。

何分、全くふなれなお役目でございますので、何かと不手際でご迷惑をおかけすることがあるかと思ひまして心配ではございますが、皆様のご指導とご協力によりまして、何とか一生懸命務めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

では次に、3月28日に飛鳥馬健次委員が教育委員会委員に再選されました。本日が再選されて最初の教育委員会になりますので、飛鳥馬委員に一言、ごあいさつをお願いいたします。

飛鳥馬委員

おはようございます。今、委員長から話がありましたように、私平成17年の3月28日から教育委員を任命いただいたわけですが、4年たちまして、今回また再任ということでお世話になることになりました。4年間いろいろなことがあり、学校再編なりコミュニケーション能力なり、体力向上にいろいろ取り組んできましたけれども、まだまだたくさん課題はありますので、中野の子どもたちのために頑張りたいと思っておりますので、皆様よろしくお願ひいたします。

大島委員長

ありがとうございました。

なお、私のあいさつ、立ちもしませんで座ったままで大変失礼いたしました。この辺も大変ふなれなところでございますので、ご容赦いただきたいと思います。

続きまして、4月1日付で事務局職員の人事異動がございましたので、改めて自己紹介

のほうをお願いしたいと思います。

それでは次長からお願いいたします。

教育委員会事務局次長

子ども家庭部から参りました、教育委員会事務局次長になりました田辺でございます。よろしくをお願いいたします。

参事（教育経営担当）

このたび、4月1日付で教育委員会の教育経営担当になりました合川と申します。よろしく申し上げます。

副参事（学校再編担当）

同じく、この4月1日に区民生活部のほうから異動してまいりました吉村でございます。学校再編担当でございます。よろしく申し上げます。

副参事（学校教育担当）

引き続き担当させていただきます、学校教育担当副参事の寺嶋でございます。よろしく申し上げます。

指導室長

4月1日から指導室長を仰せつかっております。前任は台東区教育委員会におりました喜名と申します。どうぞよろしく申し上げます。

副参事（生涯学習担当）

4月1日から生涯学習担当として参りました飯塚と申します。前任は介護保険担当課長でございました。よろしく申し上げます。

中央図書館長（統括）

中央図書館長小谷松でございます。よろしくお願い申し上げます。

大島委員長

ありがとうございました。

それでは日程に入ります。

<日程第1>

大島委員長

日程第1、「中野区教育委員会委員の議席の決定について」を上程いたします。

議員の議席については、中野区教育委員会会議規則第4条の規定により、委員長が指定することとなっています。

ただいま着席されている議席をそれぞれの委員の議席として指定させていただきます。

以上で、議決案件の審査は終了いたしました。

<委員長、委員、教育長報告事項>

大島委員長

それでは、委員長、委員、教育長報告に移ります。

まず委員長報告ということで、私から報告させていただきます。

まず4月1日ですが、区役所におきまして校長及び園長先生の辞令伝達式がございました。

それから、その同じ日ですが、新規採用された教員の方、それから他区等から中野区へ転任された教員の方、これらの方々の辞令伝達式が行われました。私も出席いたしました。

それから4月5日ですが、日曜日、1時から哲学堂公園におきまして、哲学堂公園が東京都の名勝に指定されましたので、その記念式典というのが行われまして出席してまいりました。区長さんとか議会の議長さんもおいでになりまして、当日は桜がちょうど満開で、しかもぽかぽかと大変いい、暖かい日和でございましたので、花見の方もたくさん公園に見えていて、大変に楽しい気分の中で行われました。

井上円了博士の研究員の方が講演をしてくださいますので、ごく時間が限られていたものですから、もうほんのさわりだけだったんですが、井上円了博士の人生とか人となりとかについてのお話があって、私も初めて聞く内容で、新潟のほうでしたか、お寺の住職さんの家に生まれたので住職になるべき立場だったところなんですけれども、東本願寺のほうから大変に優秀だということで、東京大学ができるときに第1期生として派遣されたというようなお話とか、哲学を学ばれて哲学会という会をおつくりになったり、世界中を旅して講演をされたりとか、井上円了先生の大変特色ある人生のごく一端に触れて、ますます興味が深まったということでした。司会の方が大変おもしろい表現をされていて、哲学堂公園というのは世界で唯一の哲学のテーマパークですと言われて、なるほどな、うまいこと言うなと思ったんですが、これからも私も哲学堂公園、ますますファンの一人になったというようなことでもございました。

次の日、4月6日は白桜小学校の、まず開校式がございまして、開校宣言をいたしました。それから、10時から入学式が行われまして新入生36名が入学したわけですが、ちょうどこの日もまだ桜が満開で、大変晴れていいお天気の日でございまして、白桜小学校にも桜の木がございまして、まさにその名のとおり桜の下での入学式ということで、こ

れはもう絶好のシチュエーションの中での入学式だなど思ったりしたようなことでございました。

それから4月9日、昨日ですが、東京都庁で東京都の教育施策連絡会というのがございましたので、これに行ってみりました。東京都の教育委員会が、ことしはこんな施策でやりますという方針などを説明するという会でございまして、東京都の教育委員にはマラソン選手も入っておられて、きのうのお話は、東京でオリンピックをやりたいというようなお話が中心で、大変ユーモアにあふれたお話を伺いましたけれども、もちろん教育についてのお話はほかの委員の方からありまして、私が一番印象に残ったのは、最後に東京都の環境局の方が地球温暖化に対しての東京都の施策についてのご説明をなさったことで、なかなか国がCO2削減について動かないということで、では国がやらないなら東京都がやろうというようなことで、なかなか世界一厳しいCO2の削減基準、義務というのを東京都のいろんなところに課しているというようなお話があって、いろんな事業所とかオフィスとかも全体に義務を課して、何とかCO2を削減しようとしているというようなお話で、非常に熱意にあふれた話で。非常に東京都民として関心を持ったところでございました。

私からの報告は以上です。

それでは、飛鳥馬委員、お願いいたします。

飛鳥馬委員

私は27日金曜日、先々週になりますか、午後、区長との懇談会、教育委員みんな一緒ですけれども参加しました。1つのテーマに沿って何か話し合うとか決めるということではなくて、区長の考え、あるいは我々教育委員一人一人の考えをお互いに申し上げて懇談をすると、そういう形でやったわけですけれども、将来の中野の教育についてどうするかということについて、自由な話をできてよかったなというふうに思っています。

それからその日の夜、それ終わってから夕方でしょうか、福祉会館で、デンマークから障害を持った成人と言ったらいいんでしょうか、義務教育が終わっている方ですけれども、その人たちが中野区へ来まして交流会を行っていたんですね。中野にNPO法人支えあう21世紀の会というのがありまして、その方たちがここ3回ぐらいもうやっているそうですけれども、お呼びして交流をしているということなんですね。もともとは、デンマークに向こうでやっぱりそういう仕事をして活躍している日本人がいて、それがきっかけで中野と交流をしようということになったようですね。こちらの会の女性が、あいさつし

ましたけれども、教育委員会からもご支援いただいていますというふうに話をさせていただいて、来た方は、車椅子に乗っていて、介助なしでは動けないような本当に重症の方4人。それからあと、多少自分で動けますがやはり障害をお持ちの方、全部で10人ぐらいですか。驚いたのは、やはり北欧でしょうかね、社会福祉が充実しているんでしょうね。そういう障害を持っている方も普通の方も同じように障害者年金というのをいただいているので十分生活ができるんですというお話ですね。そしてこういう交流といって外国にも来られると。

そして日本で言うと、いずみ教室ってありますが、あれに似ているんだと思うんですけども、大きくなった障害をお持ちの方を支援するボランティアがやはりたくさんいます、ついてきた人はほとんど女性でしたけれども、1人に1人以上ついているんですね。たくさんついているんですね。それで交流をして、日本のいろんなところを見学して帰ると、そういう催しですけども、外国の方と日本とそういう交流があって、参加してきました。区長もあいさつに来ていましたけれども。

それから30日月曜日、先ほど申し上げましたように教育委員再任ということで、区長から任命状をいただきました。

以上です。

大島委員長

では、高木委員、お願いいたします。

高木委員

4月5日日曜日、私も1時から、区立哲学堂公園東京都名勝指定記念式典というのに出席してまいりました。名勝といいますと、ほかに東京都ですと世田谷区の等々力溪谷ですとか、あるいは文京区の旧安田邸とか、そうそうたる建築物ですとかあるいは地形で、その中の1つに哲学堂公園が加わったというのは非常に喜ばしいと思っております。私は江古田に住んでおまして、小学生のころはよく学校の行事で写生大会というのが、哲学堂まで30分弱ぐらいですかね、歩いて行って絵をかいたり、あと当時はまだ平和の森公園も江古田の森公園もございませんでしたので、江古田、丸山ぐらいの子どもたちがちょっと広いところで遊ぶというと、もう哲学堂に行くしかないんですね。非常に子どものころから親しんでいて、ただ中学校、高校になると足が遠のいていたので、久しぶりに行ってみると、あれ、こんなに狭かったのかなと、やっぱり子ども心には広く感じたなど、よく遊んだなということで、本当にうれしく思いました。

あと昨日、4月9日木曜日、東京都教育施策連絡会、2時から都庁の第1本庁舎で私も参加してまいりました。当日、施策連絡会ということなのですが、東京都の教育委員の方が自分の教育観とかをお話をされたということで、特に印象に残ったのは委員長が、大学評価・学位授与機構長ということで、国の審議委員等もいろいろやっていますが、やはり東京都の教育で、人間力の育成ということにポイントを置いていろんな施策をされているということ。あと、学校教育の質の保証、やはり工学系の方ですので、今までの学校の経営が悪いということではないんですが、やはりやってみてだめだったところはきちっと手直しをして、それをPDCA、プラン・ドゥー・チェック・アクションで直していこうというサイクルを学校教育に入れたいというのが強く感じられました。

あともうお一人は、教育委員で経済同友会の教育問題委員会でよくご一緒の方が、特に教員の数をふやしたいということを書いていました。団塊の世代の方で、比較的高賃金の方がやめられるので、補充は1人ではなく、できればもうちょっと多くして、低学年は2人担任にするとか、そういったことを、ただなかなか都の教育委員会の中でも、うんと言ってくれないんですねみたいな話をされていて、会場みんなは、うん、ぜひやってください、強い視線を感じたんですけれども。その委員も企業出身の方なんですが、学校の現場もわかっている方なので、そういった形でこういった方が東京都の教育委員会の中で、現場の意見も踏まえながら教育のあり方を点検していただいていることに強く安心しました。

私からは以上でございます。

大島委員長

ありがとうございました。

山田委員、お願いいたします。

山田委員

私は3月27日、教育委員会終了後の午後でございますけれども、田中区長と、教育委員との懇談を2時間にわたって行ってまいりました。教育委員、皆さん参加していただきましたが、田中区長の教育にかける熱い思いを聞きまして、また今年度からの私たちの教育委員会の運営に大いに参考になったと思っております。

4月2日ですけれども、東京都医師会学校医会がございまして、もう皆様方うわさになっているかもしれませんが、2年前の春に日本人の高校生がカナダでの修学旅行中にはしにかかったということのご報告は前にさせていただきましたけれども、その詳しいこと

が病原微生物検出情報というような雑誌に載っておりまして、はしかを排除していない国に行った場合にどのような行政的な処置がとられるかということがつづられております。非常に大変な思いをしたということもありますし、ある一説では、日本はバイオテロをカナダにしかけるのかというような強い論調でマスコミに取り上げられたということもあります。要は日本の感染症対策というものが、日本では通用するかもしれませんが、諸外国に渡る場合には非常に弱い。どちらかと言いますと、小児の予防接種もしかりでございますが、日本の予防接種行政は、世界に比べればどちらかというと後進国的なレベルにあるということですので、何回もこの席でお話ししていますが、新エリミネーションという廃絶に向けた日本の取り組み、始まって1年経過したところでございますけれども、まだまだ取り組みが浸透していないということですので、こういったことを踏まえて、ぜひ子どもたちの健康で元気な学校生活に寄与できればということでの報告でございます。

4月6日朝に、委員長と同席をいたしまして、白桜小学校の開校式に出てまいりました。ご承知のように、前の東中野小学校、前中野昭和小学校が、中野昭和小学校の位置で白桜小学校として開校を迎えたわけでございます。校長には前東中野小学校の小林先生が着任をされまして、副校長には中野昭和小学校の石出先生が着任をされております。生徒数272名、10クラスということでのスタートが切られました。当日は非常に桜もきれいで、2年生以上の子どもたちが開校式を迎えたわけでございます。緑の校帽で、白桜、桜をあしらった紋章をつけてということで、子どもたちも新しい学校のスタートに向けて、この日からスタートを切られたと思っております。

私からは以上でございます。

大島委員長

ありがとうございました。

では教育長、お願いいたします。

教育長

3月31日ですけれども、退職される校長、それから園長、副園長、副校長の辞令伝達式がございました。それからその後、退職された校長、園長につきましては、区長のところに行きまして懇談して、いろいろ思い出などをお話しされて終わったということでございます。

それから、翌4月1日ですけれども、中野区の新規採用職員の入区式がございました。

ことは例年よりも少し多くて、46人の新規採用職員がございました。うち教育委員会には4人配属されておりまして、大分フレッシュな人材が教育委員会にも入ってきております。それから、当日、新規採用職員、教員の辞令や、校長の辞令伝達などもございまして、その後、また新しく中野区に来た校長につきましては区長のところに行っていただきまして、懇談をさせていただきました。

それから、4月2日、3日ですけれども、大分メンバーもかわりまして、毎年の例ですけれども野方警察、中野警察のほうに顔合わせという形でごあいさつに行っていました。野方署のほうは署長さんはおかわりになりませんが、中野警察署につきましては新しい署長さんということでございまして、またスクールサポーターなどもかわっておりますので、今後またいろいろと勉強していかなければならないということでもあります。

それから、4月6日ですけれども、私は南中野中学校の開校式に出席いたしました。南中野中学校につきましては、ご承知のように中野富士見中学校と第一中学校が統合し、新しく開校したわけがございまして、式典ということですが、そんなに長くはなく、1つは開校宣言というふうな形で私のほうで開校宣言をし、それから新しい校旗を教育委員会から学校に渡すというふうなこと。あと式辞があつて、生徒の言葉があつて、校歌を歌って終わりというような、簡単な式なんですけれども、そんなことで南中野の開校式が終了いたしました。

翌4月7日ですけれども、こちらは南中野中学校の入学式がございまして、こちらのほうにも出席させていただきました。南中野中学校の1年生ですが、94人ということになります。合計で288人の学校になりました。当初よりも大分十何人か、予定よりはふえておりまして、お話を聞きますと、他の区域からの指定校変更、あるいは杉並区からも来ているというようなことで、やはり新しい学校で何となく期待があつて人気があるようでございます。3学年、9クラスの学校になっております。

それから4月3日ですが、ちょっと戻りますけれども、ZEROキッズという、子どもが歌を歌って劇をやる、そういった劇団があるんですけれども、その中野区にありますZEROキッズというものが子ども環境学会賞受賞ということで、報告に参られました。ZEROキッズは1993年にできまして、ことしで16年ということですが、結構練習をした上でいろいろそういった発表をしております、基本的にはミュージカルを発表しております、ことしも5月2日、3日、なかのZERO大ホールで「ふしぎの森へ…」というミュージカルを発表するというところでございまして、その環境学会賞受賞の報告と

ともに新しく、というか今度やるミュージカルの最後の歌を皆さんで歌っていただきまして、本当に大変いい体験になりましたし、区長のところにもその前に行って同じようにお話をしてきたということでした。

それから4月の同じ3日ですけれども、中野通りの桜祭りがございまして、これは3日、4日、5日と3日間にわたって行われたわけですけれども、開会式典に出席させていただきました。そのときに、中央中学校のブラスバンドが演奏会をしていました。それから翌4日には、今度は第五中学校のブラスバンドがこの中野通り桜祭りの中で演奏をしておりました。

それから5日ですけれども、昼間、私も哲学堂公園の東京都名勝指定記念式典に出席しました。それから夜は、中野区太極拳協会の中野区体育協会加盟 20 周年記念パーティーというのがございまして、こちらのほうに出席させていただきました。太極拳というのは中国の、当然武術なんですけれども、中野は非常に盛んだそうございまして、特に日中友好の関係で、いろいろな形で太極拳が中野を中心にいろいろ広まっているというようなことがあるようでございます。各地域にそういった太極拳の道場というんですか、そういうのがございまして、そういった方々が集まって 20 周年を祝って記念のパーティーをしたということでした。区長以下、さまざま来賓も来ておられました。

それから4月9日、きのうですが、私も教育施策連絡会、東京都が催しましたものに出てまいりました。いろいろ、お二人の委員からもお話がございましたように、東京都の教育委員がいろいろお話しするというようなものなんですけれども、私は、ある委員のお話についてなかなかおもしろいことをおっしゃっていたなと思いました。

1つは公教育というんですか、子どもというのはいろいろかわりがある中で、親と地域社会と、それから公教育にかかわる者たちによって守られているというんですか、いろいろと影響を受けていると。その公教育にかかわるといふ部分というのは、全体から見ればやっぱり親、それから社会、公教育という形で一部でしかない。しかし、時代の流れとともに、保護者でありますとか親でありますとか地域社会とかが子どもにいろいろ教育するということが極めて弱体化している中で、公教育に対して非常に期待が高まっているんだと、1つはね。しかし、本当にそれでいいのかということはやはり言い続けていかなければいけないんじゃないかと。本当に教育だけでいいのかと。やっぱりきちんと、子どもというのは親が育て、社会が育てという部分をやってくださいということも言い続けていかなきゃいけないんだというようなことを1つおっしゃっていました。

それからもう一つは、公教育にかかわる者について言えば、やはり子どもの目線できちんと、子どもが何が必要か、どうだということとか、あるいは教育行政にかかわる者は学校がどうだということを、そういう常に現場というものをきちんと見た上でやっていかなきゃいけないというようなこともおっしゃっていました。

それから、大阪府知事のお話が出ていまして、知事が、教育委員会をいろいろ言っているけれども、あれは1つは、やっぱり知事というのは市民から選ばれた人なんだから、その人の言うことはきちんとやっぱり聞くべきであるということと、もう一つは、やっぱり教育委員会というのは責任があるということをきちんと考えて、知事等が言うことについて当然聞くけれども、教育委員会としてもきちんと言うべきことは言わなきゃいけないと、その辺が大切なんだと。そんなようなお話がございました。

いろいろ、その委員は、少し何か変わったかなというような、私はイメージを持たせていただきました。

私からは以上でございます。

大島委員長

ありがとうございました。

なお、私の報告の中で言い漏らしましたことが2点、3月27日の区長との懇談会に出席したということと、今教育長からお話があった3月30日の退職校長の辞令伝達式に出席したということで、感謝状は私のほうから差し上げさせていただきましたのですが、きょうの報告の対象に外れたように勘違いしてしまいまして、言い忘れてしまいました。失礼いたしました。

それでは、今の委員からの報告につきまして、質問あるいはご発言ございますでしょうか。

私から、飛鳥馬委員が先ほど出席されたという勤労福祉会館でのデンマークの障害者の方との交流会というのは、これは教育委員会としての出席ということですか、あるいは飛鳥馬委員個人でということですか。

飛鳥馬委員

全く私知らなかったんですが、区長との話が終わって、私は中央図書館に用事があるので行ったら、国際交流協会の方が、先生これからこういう会あるんですけど行きませんかと誘われたんですよ。区長があいさつに来ますよなんて言われて、図書館の帰りに寄ったらちょうどいい時間だったのでという、全くそういう予定も何にもわからなかったんです

よ。そういうことです。

大島委員長

ちょうどそれはよろしゅうございました。

あと山田委員に、今のお話で、日本の予防接種行政がおくれているというお話で、私はショックを受けたんですが、世界的に見ると遅れているというふうに言っている現状なんでしょうか。

山田委員

非常に難しい判断なんですけれども、恐らく日本の歴史から考えて、特に日本というのはもともと島国で、他国との交流が余りなかった時代のことがまだ引きずっているのかなというイメージがあります。例えば世界的には、麻疹と風疹とおたふく風邪といったMMRという予防接種はもう世界で1つ、確立された予防接種なんですけれども、平成元年に導入したときにちょっと副反応が出たということで、それ以降は日本ではMMRというのは承認はされないんですね。世界的には、そのMMRにプラス、水疱瘡を入れたMMRVという多種ワクチンがもう主流になりつつあるということで、それはなぜかという、やはり忙しい保護者のために1回で接種できればということもあるということの事実もあるんだと思うんですけれども、日本ではいまだに1回1回接種ですよ。それから個別接種にはなりましたけれども、ポリオだとかBCGはまだ集団接種を行う。これからは個別化になってくると思うんですね。

そういった中で、例えばアメリカなどは、国が定めた予防接種を受けていない限りは小学校入学が許可されないと聞いているんですね。そのぐらいのことをやっている国と、日本ではいまだにまだはしかの予防接種ですら95%にほど遠い現状がありますね。それは日本だからまだですけれども、諸外国では感染症については根絶をしようという大きな柱のもとでやっているという、そのことが非常におくれているのではないかなと。これは小児科学会含めて一生懸命アプローチするんですが、なかなか国のほうで動きが弱いということでもありますので、ゆめゆめ子どもたちが諸外国に、もしくは留学するときには向こうの外国の制度をよく熟知しないと、今の日本の予防接種だけでは、例えばアメリカだとかカナダに留学しようと思ったら半年ぐらい前からワクチン打っていかないと間に合わない。そうじゃないと向こうで勉強ができない状況がある。これは多分高木先生のほうが詳しいのかもしれませんが、そういう時代が起こっているということも事実であります。

大島委員長

どうぞ、教育長。

教育長

今のお話なんですけれども、麻疹の予防接種につきまして、中野区でも2回目の接種の接種率が悪いということで、実は山田委員からもいろいろお話をいただいております。校長会とも十分話し合いをしまして、何とか接種率を上げるために、例えば集団接種が学校でできるようにできないかとか、そのようなことにつきましては、今いろいろ協議しておりますので、なるべくそういう方向を出せるように頑張っていきたいと、このように考えております。

大島委員長

どうぞ、高木委員。

高木委員

今、山田委員からご説明がありましたように、本学でもアメリカのマーティン・メソジスト・カレッジというところと提携をしまして、留学をするんですが、その際には予防接種の証明書がないとだめなんですね。かかりましたと言ってもだめ。そこら辺厳しいので、この近辺の病院で、英語の証明書も出ますので、そこにうちの学生は行かせていますね。

まさに山田委員がご指摘になったように、うちはこの4月で小学校5年生と、今度1年生に入った男の子2人なんですが、予防接種はパズルのようですね。これ打ったら6カ月あけなさいとか、こっち打ったら何週間の中にやりなさいということで、長男のときには初めてもありましたし、慎重にやって全部クリアしたんですが、次女のときにはうっかりしていて、水疱瘡にかかってから、あれよく考えたらやっていなかったんだっけという状況になってしまったんですね。ですから、やはり4つ5つの予防接種を順番にちゃんと受けるというのは非常に難しいというのが現状です。

あと、中にはやはり保護者の方の意識が低くて、お金かかるんだと、もらってきて打てばただとかというのも、中にはお母様仲間だと妻は聞いていますので、そこら辺きちっとした啓蒙活動をやはりもうちょっと、国として都として区としてやっていかないとなかなかやはり厳しい。そうすると、困るのは海外に留学するときとか、あと短期に行くときとか、あるいは海外からお客さんが来たときにすごく困るので、やはり国際社会ですので、そういったところはきちっとしていく必要があるなと思っております。

大島委員長

わかりました。この問題また、中野区の教育委員会としても関心を持って見ていきたい
と思っているところでございます。

ほかに質問ございますでしょうか。

<事務局報告事項>

大島委員長

ないようでしたら、事務局報告に移ります。

では事務局からの報告お願いいたします。

どうぞ、指導室長。

指導室長

それでは、私より「教育管理職の異動について」ご報告させていただきます。

お配りしております資料、教育管理職異動名簿をごらんいただきたく存じます。

まず上段の園長、校長でございます。昨年度末に2名の園長が定年退職をいたしました。
異動内容としましては、1名が再任用、1名が区内副園長からの昇任となっております。

次に小学校の校長でございます。4名の校長が退職したことに伴いまして、他地区の副
校長から3名が昇任しております。また、区内での異動が3名というふうになっておりま
す。

続いて中学校の校長でございます。4名の校長が退職したことに伴いまして、2名の校
長が自校で再任用、1名が教育長人事部からの異動となっております。

次に下段の副園長、副校長の異動についてでございます。まず幼稚園副園長でございま
すが、1名が退職、2名が園長に就任したことに伴いまして、1名が区内からの昇任、1
名が他区からの昇任となっております。また、1つの園で副園長は欠員となっております。

小学校でございますが、3名が退職、2名が他地区に校長で昇任したことに伴いまして、
2名が区内の主幹教諭からの昇任、2名が他地区からの昇任というふうになっております。

次に中学校でございますが、中学校の副校長4名が区内での異動となっております。

最後に、前任の指導室長でございますが、江東区の小学校長に転出をしております。

私からは以上でございます。

大島委員長

では今の報告につきまして、何か質問がございますでしょうか。

どうぞ、飛鳥馬委員。

飛鳥馬委員

この欄で言うと、副校長のところの7番、沼袋小学校の例がありますが、ここは北中野中学校から小学校へという異動ですね。昇任ですが、全都的に中学校の校長が小学校の校長へということは、前から聞いているんですけども、こういう副校長の場合に異種間異動というんでしょうかね、特に中学校から小学校22へというのは全都的には今どのくらいいるんでしょうか、わかる範囲で。ここ中野は1人ですけども、それがふえる傾向にあるのかどうかですね。

大島委員長

どうぞ、指導室長。

指導室長

ちょっと正確なデータは、今手元にございませんですけども、中学校の校長、副校長はちょっとそのあきがというんでしょうか、小学校は今足りない状況でございますが、中学校につきましては校長、副校長に余りというか、そういう状況がございますので、免許を持っている場合、小学校に出ていくということも最近ふえております。

大島委員長

ほかに質問はございますでしょうか。

どうぞ、高木委員。

高木委員

私から2点質問があります。まず、かみさぎの副園長が欠員になっていますが、これはどれぐらいで補充される見込みなのか、あるいは補充されないのかというのが1点と、あと再任用に関しまして、幼稚園と中学校は再任用の校長先生がいるんですけども、小学校は見られないという、去年もたしか同じような傾向だったんですが、これは何か理由があるんでしょうか。2点お願いします。

大島委員長

どうぞ、指導室長。

指導室長

まずかみさぎ幼稚園の副園長の件でございますが、結論から申し上げまして、年度内の補充はございませません。この経緯につきましては、ご案内かと思いますが、退職が次年度の採用を決める後になってしまった関係で、幼稚園長、副園長につきましては欠員分しか補充をしていかないということがございますので、このような状況になっております。

それから再任用の小学校校長でございますけれども、特に本区がということではないと思いますけれども、他区でもしない校長先生も多いところもございますので、特に小学校だからという話はないというふうに考えております。

高木委員

了解しました。

大島委員長

そのほかに質問ございますでしょうか。よろしゅうございますか。

ほかに報告事項はありますか。

では、ないようですので、以上で、本日予定した議事は終了いたしました。

これをもちまして、教育委員会第11回定例会を閉じます。

午前10時44分閉会